修 正 後
(平成27年3月2日現在)

(3) 教育

定住自立圏形成協定の規定内容	
取組の名称	重要伝統的建造物群保存地区（以下「重伝建地区」という。）における修理修景等事業及び活用事業の推進
取組の内容	圏域内で甲乙に所在する両重伝建地区に対する愛情・誇り・一体感を醸成し、圏域外からの観光客の流入と周遊を図るため、修理修景等事業の推進及び圏域内外への情報発信等の広報活動に取り組む。
中心市（甲）の役割	甲に所在する重伝建地区内の修理修景等事業を推進する。また、圏域内外への両重伝建地区の情報発信等の広報活動に取り組むとともに、必要な経費を負担する。
周辺市町村（乙）の役割	乙に所在する重伝建地区内の修理修景等事業を推進する。また、甲と連携し圏域内外への両重伝建地区の情報発信等の広報活動に取り組むとともに、必要な経費を負担する。

事業名	重要伝統的建造物群保存地区修理修景等及び活用事業					
関係市町村	弘前市、黒石市					
現状と課題	重伝建地区では、少子高齢化や生活様式の変化に対応した改修等が制限される一面がある。このため住民自身の町並み保護意識が希薄化し、年々まちなみ保護が困難になってきているという課題を抱えている。					
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・貴重な伝統的建造物の保存修理、町並み保存に寄与する新築等の修景を積極的に進めるため、地区住民への補助等の支援を実施する。 ・種別の異なる両重伝建地区の特徴をアピールする共通パンフレットを作成し、効果的な情報発信を試みる。 					
効果	町並みを健全に保全しながら観光客の流入を図ることにより、地区住民の保護意識の醸成が図られるとともに、地域経済の活性化にも貢献する。					
スケジュール	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	合計
修理修景				→		
情報発信				→		
事業費見込額（千円）				13,917	15,360	29,277
特定財源等	伝統的建造物群保存事業費補助金					

修正前

(平成27年2月6日 第2回共生ビジョン懇談会提示)

(3) 教育

定住自立圏形成協定の規定内容	
取組の名称	重要伝統的建造物群保存地区（以下「重伝建地区」という。）における修理修景等事業及び活用事業の推進
取組の内容	圏域内で甲乙に所在する両重伝建地区に対する愛情・誇り・一体感を醸成し、圏域外からの観光客の流入と周遊を図るため、修理修景等事業の推進及び圏域内外への情報発信等の広報活動に取り組む。
中心市（甲）の役割	甲に所在する重伝建地区内の修理修景等事業を推進する。また、圏域内外への両重伝建地区の情報発信等の広報活動に取り組むとともに、必要な経費を負担する。
周辺市町村（乙）の役割	乙に所在する重伝建地区内の修理修景等事業を推進する。また、甲と連携し圏域内外への両重伝建地区の情報発信等の広報活動に取り組むとともに、必要な経費を負担する。

事業名	重要伝統的建造物群保存地区修理修景等及び活用事業					
関係市町村	弘前市、黒石市					
現状と課題	重伝建地区において、生活様式の変化に伴う改修を求める事例が発生したり、少子高齢化に伴う空き家化などにより、年々町並み保全が困難になってきている。地区としてのマイナス面が顕在化することにより、住民自身の町並み保護意識が希薄になるという課題を抱えている。					
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・貴重な伝統的建造物の保存修理、町並み保存に寄与する新築等の修景を積極的に進めるため、地区住民への補助等の支援を実施する。 ・種別の異なる両重伝建地区の特徴をアピールする共通パンフレットを作成し、効果的な情報発信を試みる。 					
効果	町並みを健全に保全しながら観光客の流入を図ることにより、地区住民の保護意識の醸成が図られるとともに、地域経済の活性化にも貢献する。					
スケジュール	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	合計
修理修景				→		
情報発信					→	
事業費見込額 (千円)				13,917	15,360	29,277
特定財源等	伝統的建造物群保存事業費補助金					